

顎変形症で入院される患者様へ

様 主治医



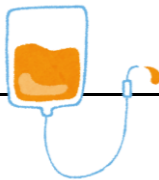

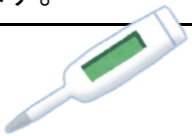
看護師

入院日 月 日 () 時 分

患者サポートセンター入退院支援室にお越し下さい(休日は正面玄関守衛室にお越し下さい)

日程	(/)	(/)	(/)	(/)	手術後1日目	手術後2日目
経過	外来	入院日	手術前日	手術当日		
日常の状態				手術室に入る時間は看護師よりご連絡します。手術着に着替え、トイレをすませてください。	手術後、鼻から管が入ってきます。抜かないようにしてください。口の中から血を貯める管が出ています。引っ張らないように気をつけてください。	
処置		外来で口の中をきれいにし、かみ合わせをみます。外来に行くよう、看護師が声をかけます。	外来で医師が診察をします。外来に行くよう、看護師が声をかけます。	手術後は両あごを冷やすため、2時間ごとにアイスノンを交換します(8時間継続して行います。)	外来で口の中の診察をします。手術後は上下の歯をワイヤーで固定します。吐き気があったら、すぐにナースコールで看護師に教えてください。	医師の診察があります。外来へ行きます
検査	レントゲン、心電図、呼吸機能、採血、検尿を行います。			手術後に手術室でレントゲンを撮ります(鼻からの管が胃に入っているのを確認します)		
内服	内服している薬について確認します。 	※お薬について 現在、当院またはかかりつけ医で処方されているお薬(内服薬・点眼薬・貼り薬・塗り薬など)は予定入院期間より多めにお持ち下さい。 入院時に再度内服薬を確認させていただきます。当日看護師			手術の後は痛み止めを使用します。それでも痛みが続く場合は、医師と相談します。	
点滴				麻酔科医師の指示で点滴をする場合があります。	栄養の点滴1本、抗生剤の点滴を9時・19時で行います。点滴を行う時間には、部屋で待機しててください。	抗生剤の点滴を9時、19時に行います。
安静度 清潔		特に制限はありません。	シャワー浴にて、体を清潔にしてください。	車椅子または歩行で手術室に行きます。	経過により、歩くことができます。	
食事		特に制限はありません。	21時以降は食べることはできません。飲水の時間については麻酔科医の指示をお守りください。	手術前は食べたり飲んだりできません。	食事はできません。鼻の管から、さ湯と栄養剤を、ゆっくり注入します。口から、ストローでの飲水(水・無糖のお茶のみ)が可能です。	
検温					適時検温をします。----->	
説明	入院についての説明があります。手術について主治医より説明があります。説明後に渡される手術同意書にサインして、入院当日お持ちください。	入院後、病棟内の説明があります。看護師に、外来で渡された手術同意書をお渡しください。	麻酔科医師の診察があります。	手術中にご家族がにお待ちいただく場所は、病棟看護師から説明があります。	上下の歯を固定してありますので、主に筆談での会話となります。又、息苦しさ、のどの違和感があります。頬、唇が腫れます。口の中や鼻から出てくる痰は、吸引器を使って自分で取るようにしてください。吸引器の取り扱いについては、看護師が指導に入ります。状態に応じて看護師が介助して吸引を行います。上記入院中の療養支援計画について説明を受けました	年 月 日 本人または家族の署名 _____ この説明用紙は入院時もお持ちください

顎変形症で入院される患者様へ No, 2

日程	手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目	手術後6日目以降
経過				
日常の状態				
処置	連日、外来で医師の診察があります。口の中に入っている管は、出血量により医師が抜きます。	医師の判断で圧迫を外したり、鼻の管を抜きます。口の中の装具にゴムを掛けるようにします。自分で行えるよう、医師から指導がはいります。		傷が安定したら、外来で口の中の糸を抜きます。
検査	診察前にあごのレントゲンをとります。 			
内服	うがいを毎食後と、寝る前にしてください。痛みが強い時は、痛み止めの座薬を使用します。	違う種類の薬が内服開始となります。看護師、または薬剤師からの説明があります。 		
点滴	抗生剤の点滴を9時・19時に行います。本日で点滴は終了です。 			
安静度 清潔	トイレまで歩けます。	シャワー浴ができます。入浴については病棟の看護師にお尋ねください。		
食事	食事はできません。鼻の管から、ゆっくり栄養剤を注入します。ストローでの飲水(水、無糖のお茶のみ)が可能です。		傷の状態に応じて昼より、食事が出ます。(お粥で、おかずは細かく刻んだものです。パンは禁止です。)	退院後1ヶ月間は、なるべく軟らかい物の食事をし、固い物や、形の大きい物は避けましょう。
検温	検温をします。			
説明			ゴム牽引は必ずしっかり行ってください。できない場合は、医師の指導を再度受けるか、看護師に報告してください。	手術後6日目に食事内容・形態について、栄養士の指導が入ります。退院後の注意事項、次回の外来受診の予約について説明があります。 